第１版：2022 年 11 月 18 日

オプトアウト用公開文書

研究名称

子宮頸癌新ⅢC1 期に対する最善の治療法を検討する研究

１．研究の対象

2013 年 1 月～2021 年 3 月に近畿大学病院で初回治療を行った子宮頸癌のうち、進行期（旧分類）がⅠA2 期～ⅢB 期（神経内分泌癌は除外）の 213 例

＊進行期（旧分類）ⅠA2 期～ⅢB 期は癌が骨盤内に留まっている状態です

２．研究目的

新進行期ⅢC1 期の最適な治療を調べることを本研究の目的とします

＊新進行期ⅢC1 期は癌が骨盤内に留まっているが、骨盤リンパ節に転移がみられる状態なります

３．研究実施期間

倫理委員会承認後～2024 年 12 月 31 日迄

４．研究の方法

研究対象者について、下記の臨床情報を診療録より取得します

①患者背景

年齢、組織型、最終生存日、治療法、再発日、再発部位、進行期

②子宮頸癌、リンパ節転移の所見

CT、MRI 画像での子宮頸癌診断時の腫瘍径、リンパ節転移の有無及び直径

③転機

再発の有無、死亡の有無、合併症出現の有無(リンパ浮腫、排尿障害)

＊集されたデータは本研究の目的以外に利用することはありません。

５．研究組織及び利用する者の範囲

研究責任者

近畿大学医学部 産科婦人科学教室　松村謙臣

研究実務責任者（解析・情報収集）

近畿大学医学部 産科婦人科学教室　加嶋洋子

研究分担者（解析・情報収集）

近畿大学医学部 産科婦人科学教室　中井英勝
近畿大学医学部 産科婦人科学教室　小谷泰史

６.情報の管理について責任を有する機関

近畿大学医学部

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の相談窓口までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。

また、患者様が特定できる情報（患者様氏名・カルテ番号）については削除され、匿名化されておりますが、あなたの情報を研究に利用する事を希望されない場合は相談窓口に連絡下されば利用する事を停止致します。情報利用を希望されなくても、あなたに不利益を被る事はありませんのでご安心下さい。

この研究は近畿大学医学部倫理委員会で患者さまの安全や人権に問題を生じる可能性がないかについて審査されています。近畿大学医学部倫理委員会で承認を受けた後、医学部長による許可を受けて実施します。

【相談窓口】住所：大阪府大阪狭山市大野東 377-2
電話：072-366-0221　内線　3215
担当：近畿大学医学部産科婦人科学教室　加嶋洋子